

描かれた直実・蓮生展

～ごあいさつ～

私たちの郷土熊谷は、古代から現代まで数多くの偉人を輩出していますが、やはり熊谷の地を「名字の地」とし、平安時代から鎌倉時代にかけて活躍した熊谷次郎直実・法力房蓮生法師がその代表と言っても過言ではないでしょう。

さて、熊谷氏の系図は数種類現存し、中でも平直方流の系譜を引く説が有力ですが、一説によると、武蔵国目代に任命された私市直季が熊谷の地を領地とし、その土地の名前をとって熊谷氏を名乗ったとする説があります。

その後胤とされる武士・熊谷直実はこの熊谷の地を自分の本領として、源平合戦という激しい戦いに文字通り「一所懸命」に奮戦し、数々の軍功を挙げました。『平家物語』『敦盛最期』の一ノ谷の戦いの場面は涙なくしては語れない名場面の一つです。

そして、この時の戦いが原因で「武士の世の無常観」から武士をやめ、法然上人に帰依して浄土宗の

僧侶・法力房蓮生法師となったとされます。蓮生法師は全国各地に寺院を建て、一心に念仏を唱え、多くの民衆を救おうと熱心に修業しました。

こうした武士・僧侶の数々の逸話が多く、民衆の心をとらえ、江戸時代の人形浄瑠璃・歌舞伎の題材となり、今の我々の心に響く人物となっています。

今回展ではこうした熊谷次郎直実・法力房蓮生法師の、描かれた姿を展覧いたします。単に歴史上の人物としての活躍だけでなく、絵画や文芸などの作品にも取り上げられるということは、それだけ武士としての活躍・悲しみ、僧侶としての慈愛の心が、時代を超えて直実・蓮生の存在感を強くしていることの表れであるといえます。

このように様々に取り上げられた直実・蓮生をご覧いただき、実際に熊谷に住んでいた偉人をもっと身近に感じていただければと思います。そして熊谷への郷土愛を深めていただければ幸いです。



一ノ谷合戦図 歌川国芳 弘化四年～嘉永五年

会期：平成27年9月8日（火）～12月13日（日）

〔休館日：毎週月曜日（祝日を除く）、9/24、10/2、10/6、10/7、10/13、11/4、11/6、11/24、12/4〕

会場：熊谷市立熊谷図書館 3階 郷土資料展示室

時間：午前9時～午後5時

入場無料



東行逆馬図 白井舜軒



熊谷・敦盛図屏風 狩野派 江戸中期



一谷嫩軍記 熊谷陣屋 歌川豊国 (三代) 天保二年



熊谷蓮生法師 歌川豊国 (三代) 嘉永五年



熊谷陣屋 歌川豊国 (三代) 安政元年



須磨合戦 福井頼彦 大正7年